

必修科目 地域医療(日光医療センター)臨床研修プログラム

1. 研修施設

獨協医科大学日光医療センター

2. 研修期間

2年次の1か月間～

3. 指導体制

指導責任者： 原 澤 寛 教授

4. 研修内容

I：一般目標

将来の専門性にかかわらず、地域保健活動を理解し、中小病院において地域医療を実践できる。

II：行動目標

- (1) 患者－医師関係
- (2) チーム医療
- (3) 問題対応能力
- (4) 安全管理
- (5) 診療および退院計画
- (6) 医療の社会性

III：経験目標

- A 根拠法令に基づいた地域保健活動を理解する。
- B 退院準備の段階に入った患者を受け持ち、地域と連携した退院計画を立案することができる。
- C 地域の医療・保健・福祉資源に関する知識を習得する。

IV：研修スケジュール

1か月の研修期間において、日光医療センターをベースとし、地域の医療・保健・福祉施設を含めて実習を行う。

1. 地域との連携が不可欠な新入院患者を受け持ち、初期評価、診療計画の立案、実習期間中の経過観察を主治医として行う。

2. 退院準備の段階に入った入院患者を受け持ち、主治医として具体的な退院計画をたて、医学的に必要な準備、制度利用、地域資源の活用・連携などを行う。また、家屋評価、在宅訪問などを必要に応じて実施する。
3. 家族指導、コメディカル、地域スタッフとのカンファレンス等にも参加する。
4. 受け持ち患者に関連した地域資源を訪問し、見学実習を通して当該施設の役割、利用方法など具体的なサービス内容を理解する。